

# 稲作情報

発行日：令和7年5月1日  
京都府山城南農業改良普及センター

## ～第1号～ 本田準備・田植え編

気象庁の予報では、5月3日頃からかなりの高温になる見込みです。

### 予想される向こう1か月の天候(2025年05月03日～)

近畿日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。近畿太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

#### 気温

平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

## 1.本田準備

### ◎ゆっくり耕し、作土層を深くしましょう

根域の拡大のため、作土深は15 cmを目標とし、トラクターをゆっくり走らせ（1～3 km/h、PTO 1）、深く耕しましょう。

### ◎土づくり肥料を積極的に投入しましょう

ケイ酸資材は、①根の活力維持 ②倒伏対策③いもち病抵抗性向上の効果があります。積極的に投入しましょう。

## 2.田植え

### ◎田植え～中干しまでの水管理

①活着するまでは水深4～5cmの深水にします。

※ジャンボタニシがいるところは、4 cm以下の浅水にしてください！

②活着後は、茎数を増やすため、2～3 cmのやや浅水にします。

③ガスわき対策として、3～4日に一度落水する間断かん水を行います。

活着前

活着後

間断かん水

浅水で、3～4日に一度落水

4～5 cm

2～3 cm

## ◎ガスわきについて

地温が上がることで、残っている有機物（主にワラ）を分解するために、土中の微生物が一斉に動き出し、土の中の酸素を使い果たすことで、有害なガスが発生します。

●田植え後、こんな症状が出たら落水してください！

- ①下葉が黄色く、分けつが少ない
- ②田んぼに入ると、踏んだところから泡が出る

## ◎除草剤

①除草剤散布時は、剤に合わせた水深を維持します。

粒剤：3～5 cm程度   フロアブル剤：5 cm程度、

ジャンボ剤・豆つぶ剤：5～6 cm 程度

②散布後7日間は湛水し、入水の際は、ゆっくりと入れてください。

③製品ラベルをよく読み、内容を必ず守ってください。

## 3.病虫害

### ◎紋枯病



紋枯病の病斑



①高温多湿を好むため、近年の高温で発生が多いです！

②被害株の菌核がほ場内で越冬し、翌年の伝染源となるため、一度発生したほ場は、次作も発生する可能性が高いです。

《対策》

①発病後はなるべく早く、出穂前までに防除するのが効果的です。

②病斑は株元から進行するので、株元にもかかるよう丁寧に散布します。

③薬剤を散布する場合は、収穫前日数に注意してください。

※粒剤の場合、湛水する必要があります。